

陽だまり通信

季刊誌

Vol. 65

2019年5月27日発行

特集

- 1 私たち新入職員を
よろしくお願ひします
- 2 あまのコミュニティーケアプラザ
LaLa(ララ)がオープンしました

優しさを伝える技術・認知症ケアの技法
ユマニチュードをご存知ですか？



<http://www.amano-reha.com/>

私たち新入職員を

4月からよろしくお願ひします

4月に入職した新人職員に

「意気込み」を

書いてもらいました



廿日市
在宅総合
ケアセンター
あまの

望海の里



一人一人に♡
寄り添うに理学士
臨床心理士 中野美知



あまの
コミュニティー
ケアプラザ
LaLa



笑顔
保育士 伊藤雅子



元気と笑顔
保育士 原本麻衣



笑顔を忘れず
明るく元気に
看護師 川江玲奈



障害者支援専門員
森崎麻子
もう一歩前へ
がんばります!



LaLa(ララ)と
地域へ発信
事務 河村美香



一期一会を
大切に
相談支援専門員
肥田純子

アマノ
リハビリテーション
病院



毎日元気
理学療法士 渡辺奈津子



楽しく
笑顔で
理学療法士 美濃菜穂



笑顔と感謝を
忘れずに♡
理学療法士 津波 麗奈



明るい笑顔で
日々の前進
理学療法士 沖 彩乃



有言実行
楽しく働く!!
理学療法士 熊川 三



日々成長
を胸に!!
トレーナー 船元 純



ポジティブ
理学療法士 中井和佳子



笑顔と元気
理学療法士 植田 穂香



早寝早起
作業療法士 中野 美知



笑顔 ありがとう
作業療法士に!
作業療法士 角野 真奈美



誠実に
作業療法士 武田 佑美子



熱意と冷静
作業療法士 河村 直裕



元気に
楽しく
栄養士 中村 綾花



優しいのがある
看護
看護師 土居 研次



心を込めて♡
看護をします
看護師 窪田 有香



Respect
医療事務 早田 美佳



継続は
力なり!
理学療法士 溝部 夏希



全力
理学療法士 光田 行希



挑戦
理学療法士 高野 博斗



粉骨砕身
作業療法士 宮川 宗一郎



頑張ります。
医療事務 谷口 奈緒

“子どもを預けて働きたい”をサポートします!

あまの保育園

「豊かな人間性を育てる」をコンセプトに当法人職員の子どもの主対象とした企業主導型保育園です。

当園では、子どもたち一人ひとりの健やかな成長の助けができるよう、「今」を大切に保育を行ってまいります。

保育目標

1. 生き生きと遊び 心身ともに健康な子ども
2. 感謝の気持ち 思いやりのある子ども
3. 自然に親しみ 感性豊かな子ども

お問合せ先 TEL:0829-32-8800
FAX:0829-32-8817

“地域の中で自分らしく”を応援します!

生活介護事業所 ハートフルあまの

障がいのある方が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるように支援を行っています。利用者の皆様のチャレンジしようとする気持ちややり遂げるまでの過程を大切に、楽しさや達成感を共有できるように心がけています。嘱託医や看護師、セラピスト等と連携して健康管理もしっかり行います。

お問合せ先 TEL:0829-31-5581
FAX:0829-31-5583

一人一人に応じた療育を行います!

放課後等デイサービス オレンジ・スマイリー

身体と心の発達に何らかの心配のある就学児を対象に、放課後及び長期休暇中に療育を行っています。保育士や児童指導員をはじめ、医師、看護師、理学療法士等の医療スタッフが協力し、多角的な視点から支援を行います。また、学校や相談支援事業所等、関係機関等とも連携し、お子様を主体とした療育に努めています。

お問合せ先 TEL:0829-31-5582
FAX:0829-31-5583

運動やお風呂、レクリエーションで楽しんでください!

高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

日帰りで、食事や入浴、日常生活上のケアを提供するとともに、レクリエーションや機能訓練を行うことにより生活機能の維持向上を支援する事業所です。

身体機能の維持向上だけでなく、閉じこもりの防止、孤独の解消、ストレスの軽減、精神面の維持向上を図ります。

お問合せ先 TEL:0829-31-5588
FAX:0829-31-5587

次のページから
さらに各事業所を
紹介します

*病後児保育について

体調不良などで集団保育が難しい子どもが利用できる専用スペースです。当法人職員の未就学の子どもの利用できます。子どもの体調がすぐれない時、小児科医、看護師、保育士が病後児のケアを行ってまいります。

遊戯ホール

保育園の発表会や、入園式、卒園式が行えるホールです。園児のご家族を招いて各種イベントも行います。

“障がいのある人の働きたい”を応援します!

広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市・大竹市在住の障がいのある方で一般企業での就労を希望する方に、ハローワークや行政など関係機関と連携を図りながら、就職し、さらには仕事を継続していくうえでのサポートや助言をしています。また企業訪問も行い、雇用の促進や定着支援に関する相談に応じています。

お問合せ先 TEL:0829-34-4717
FAX:0829-34-4718

障がいのことなら何でもご相談ください!

相談支援事業所 あおぞら

障がいのある人や発達に何らかの心配のあるお子様の、生活の中で生じる不安や課題について、専門の職員(相談支援専門員)がご相談に応じます。主には、障害福祉サービスを利用するために必要なサービス等利用計画の作成、関係機関や事業所等との連絡調整を行います。

お問合せ先 TEL:0829-34-4710
FAX:0829-31-5583

栄養調理室

「ゆうゆうあまの」「ハートフルあまの」「オレンジ」「スマイリー」を利用される方にお昼の食事を調理しています。管理栄養士の指導のもと、栄養バランスを考えた調理を行うとともに、旬の食材を使い季節の移り変わりを感じていただけるように心がけています(食事形態はその方の体調に合わせて個人対応をしております)。

また、あまの保育園の昼食、おやつも調理しています。保育園では、離乳食、幼児食など成長に合わせたメニューになっています。

コミュニティーホール

音響設備も完備しており、講演会や地域との文化活動の場として交流ができるカルチャースペースです。

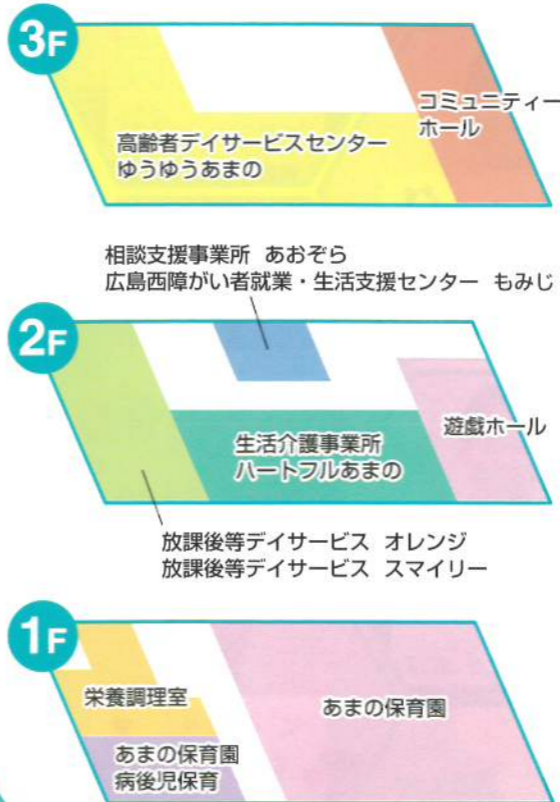
祝 あまのコミュニティーケアプラザLaLa(ララ)開所



あまのコミュニティーケアプラザ

LaLa(ララ) Open

フロア案内



3月8日、あまのコミュニティーケアプラザLaLaの開所式が行われました。廿日市市の眞野市長をはじめ行政職員、広島県及び廿日市市議会議員、そして地域の事業者や住民の方々など約40名のご来賓をお迎えし、当法人の関係職員約30名とともに新しい施設の入りを祝うことができました。

式典の冒頭では、ドローンを使って上空から撮影したPR動画を流し、続いて理事長が新施設に込めた思いや抱負を述べられました。来賓の方々からのご祝辞では、この施設への期待の

言葉が多く寄せられ、中でも、串戸地区自治協議会の市里会長からは、「地域住民を代表し、LaLaが地域に開かれた施設として多くの人々から愛され、地域に根付くことを心から願っている」という温かいエールをいただき、大きな励みとなりました。「地域のために、地域とともに」という法人の理念を実現するためにも、このLaLaが一日も早く、地域になくてはならない存在となり、末永く地域社会に貢献していけるよう努力していきたいと思っております。

障がい者支援部部长

立花 英美



音楽療法を行っています

放課後等デイサービス オレンジ・スマイリー



オレンジでは、障がいのある小学校1年生〜高校3年生までのお子様を月々金曜日の放課後（長期休業中は朝から）、またスマイリーでは、重症心身障害児や医療的ケアが必要なお子様を土曜日の終日お預かりしています。様々な配慮を必要とするお子様はかりなので、専門職がチームを組んでしっかりサポートし、子どもたちの新しい経験を増やしながら身辺の自立や社会的スキルを高めています。

呼吸器を装着したお子様がプール遊びをしたり、家族と離れて外出したくないお子様が職員と電車とフェリーに乗って宮島へ渡ったり…。さらにレストランで食事をしたり、買い物をしたりする体験にも挑戦しました。その時の本人の目の輝きや、ご家族の「こんなことができるなんて夢のようです！」と感動された言葉を今も忘れることができます。

このような活動の中でできなかったことができるようになって成長したことを実感した時や、心を開いて思いを伝えてくれたりした時は胸が熱くなり、やりがいを感じます。

オレンジ・スマイリー
主任 國廣 孝弘



保育園の門を通り抜けると子どもたちの楽しそうな歌声が聞こえてきました



あまの保育園



あまの保育園は令和元年5月現在、0歳から5歳までの園児が33人在籍しています。安心して我が子を預けられる場所があることで、保護者が毎日子どもの笑顔を見て「行ってきます」が言え、お仕事が終わってすぐに我が子を抱きしめることができる素晴らしい環境になっており、これが保護者にとって頑張っていることのできるエネルギーになっていきます。

また、当園では看護師常勤の病後児保育室があります。病後は治っているものの、まだ本来の状態に戻らず、集団保育が難しい子どもが利用できる専用スペースになっています。

3月に行われた卒園式で入園当初の子どもたちの姿を思い出して成長ぶりを改めて感じ、保護者の方々と共に喜びあえたこと、また、巣立っていく子どもたちを自信をもって送り出せたときにとてもやりがいを感じています。また新園舎の恵まれた環境の中で、安心して伸び伸びと子どもたちが遊ぶ姿があること、このこと自体にとっても喜びを感じています。

あまの保育園
園長 本田 徳子



生活介護事業所 ハートフルあまの



利用者様と一緒に作ったダーツゲーム(左)ところころ落としゲーム(右)



ハートフルあまのには様々な障がいや年代の方々が通っておられ、中には医療的なケアの必要な方もいらっしゃいます。午前に行っている集団レクリエーションや午後のサークル活動の時間には、やりたいことを自分で選び、使う道具も職員と一緒に作るなどしながら楽しんでいます。

ここでは、利用者様も職員も同じように活動に参加し、レクリエーション活動では、職員も本気で喜んだり悔しがったりしてとても盛り上がりがありますし、利用者様が何か困っていると職員も一緒に悩み、考え、解決方法を探っていきます。みんなが同じことに幸せを感じ、何でも言える関係、それはまるで家族のようなだと思っています。そのような温かい雰囲気の中で、仕事に大きな喜びや楽しさを感じる事ができるので、長い連休の時などは仕事に来たくありません。

ハートフルあまの
主任 榎木 拓史



高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの



静かな音楽の流れる朝、野間課長と利用者さんが談笑されていました



ゆうゆうあまのには、利用者様は「お出かけ」をする気持ちで来て下さいます。

家とは違った自分になって、お化粧をされたり他者を気遣われたり、日常会話を交わし、レクリエーションと一緒に笑って喜び、交流を楽しめます。

時には音楽や踊り、紙芝居等々のボランティアさんにお越し頂き、家ではなかなかできない体験をして頂きます。

特に利用者様が喜ばれるのは「運動をすること」です。朝の挨拶後、お昼の食事前、食後、帰る前等に職員と一緒に廊下を歩いたり、下肢筋力の維持・腰痛予防・肩こり予防の体操をしたりされています。法人内の理学療法士や作業療法士にゆうゆうに来てもらい、その方々にあつた運動方法の相談にのってもらって機能訓練の計画を立てています。

運動にお誘いすると「よし！じゃあ歩きに行こう！」と皆さんとても意欲的です。

利用者様の生活にメリハリを提供できる場でありたいと思います。

ゆうゆうあまの
課長 野間 稲穂



栄養調理室

園児さんも食べた豆入りハンバーグ



栄養調理室
主任 野中 里江

栄養調理室では毎日細やかな個人対応を心掛け、ハートフルあまのやゆうゆうあまの利用者様のその日の体調に合わせた食事を、またあまの保育園の昼食は園児さんの成長に合った調理を保育士と話し合っつてメニューを決め調理しています。午後3時には1日が楽しく過ごせるように、心がワクワクするおやつが提供できるよう心がけています。

「この食事はおいしい」と利用者様に言ってもらえることにとっても喜びを感じています。また下膳の時、お皿が空っぽになつて返ってきたときはとてもやりがいを感じます。

ちなみにこの写真を撮影していただいた日のメニューは、菜飯、豆入りハンバーグ、ポテト、チーズサラダ、味噌汁でおやつはさつま芋の甘煮でした。

相談支援事業所 あおぞら



あおぞら
主任 森崎 千晴

あおぞらでは、障がいのある方の「こうしたい!」「こうありたい!」という思いをきちんとキャッチし、それを実現するための福祉サービスの利用計画を作成することを心がけています。例えば、障害者手帳の等級は同じでも、それだけで一律に判断するのではなく、個々の目線に立って、常に「その人がどうありたいのか」を念頭に、その方が望むプランを柔軟に組んでいます。就労支援や医療機関もある当法人では多面的にサポートができ、喜ばれています。

余談ですが、先日あるご家族から「本人の余暇が充実してきた」と感謝の言葉をいただきました。たまたま利用者様に好きなことや趣味を聞いていたので、絵が好きならば絵画展をご案内したり、猫が好きならばネコカフェをご紹介します。盛り込むことができました。このように、障害福祉サービス以外のことも利用者様をサポートするよう心がけています。

コミュニティーホール

法人内研修会にてグループでディスカッション

Lalaの3階に設置したコミュニティーホールは約100人が入ることのできる広さを備え、講演や研修など多目的に使えるように映像装置や音響設備も備えました。当法人にはこのような大人数が収容できるホールがなかったため、待望の設備となりました。

また、Lalaに訪れるボランティアの方々や、高齢者デイサービスや障がい者事業所サービスのイベント時にも使われてまいります。

今後については、医療介護サービスタなどの講演会など地域の方々にも参加していただくイベントを発信していきたいと考えています。

広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

電話でもご相談を受け付けています



もみじ
主任就業支援担当者 田内 睦

もみじは、一般企業での就労をめざす障がいのある方々に助言をしたり、困りごとの相談を受けたりする窓口的な存在です。まず、初回面談でどのような働き方を希望されているのかなどのお話を伺って、一人一人に合った方法を一緒に考えていきます。

また、必要に応じて、ハローワークへの同行、就労に向けての訓練に関する情報提供(就労移行支援事業所、就労継続支援A型・B型事業所など)、通院同行等も行い、働くための様々な情報を得ていただくためのサポートを行います。企業に就職するためには重要なことは、マツチンクです。仕事の内容、環境などが自分に合っているのかを知るために職場実習をお勧めしています。企業に就職後も、長期的に働けるように職場訪問も行っています。

自分に合う仕事が見つかり、「この職場で働いてよかった」とやりがいを感じていただけたことが何よりも嬉しいことです。行く行くは自分で人生設計を立て、住み慣れた地域で自立した生活を送っていただくことが私たちの願いです。

優しさを伝える技術

ユマニチュード

をご存知ですか？

広島県認知症介護指導者
介護付有料老人ホーム望海の里
看護介護課主任

田中 薫

認知症の方に有効な技術法

ユマニチュード《人間らしさ》という認知症ケアの技術は、二人のフランス人、イヴ・ジネスト氏とロゼット・マスコッティ氏によって作り上げられた35年の歴史を持つ、知覚、感情、言語による包括的なコミュニケーションに基づいた哲学であり、技術法です。高齢者、とりわけ認知症の方に有効なメソッド(技術)とされています。

私がユマニチュードに興味を持ったのは、広島某大学の教育学部の教授との出会いがきっかけでした。「おおよそ人と人との関わりを職業に

している人なら、一読しておくべき」と教わり、ユマニチュードの認知症ケアの視点だけではない哲学にも刺激を受け、本やDVDで知識を得ました。

平成30年2月、岡山大学鹿田キャンパスで、ユマニチュードの研修があることを知り、参加しました。講演終了後、イヴ・ジネスト氏とお会いできる機会を頂き、大変緊張しましたが、初対面とは思えない程柔和な人柄で、とても優しい暖かな手をされており、愛のかたまりのような方でした。

ユマニチュードの柱は4つ

講演の中でイヴ・ジネスト氏は、ユマニチュードの基本思想は「相手に対し、あなたは人間ですよと優しい眼差しで見、話しかけ、優しく触れることによりご自身が人間であると認識できるようにすること」とし、ユマニチュードの柱は以下の4つであると説明されました。

見る 赤ちゃんを抱くように広い面積で抱き、近くで見る。良い言葉をかける。

触れる 誰からも触れてもらわないと分らないので「あなたは人間なんですよ」と自分が人間であることを分かるよう優しく触れる。相手から見てもらい、触れられス イッチが入る。

立つ 立たせる援助をすること

人間の尊厳は「立つ」ことによってもたらされる側面が強く、死の直面まで尊重されなければならない。

望海の里全職員で取組中

現在、望海の里では、一人の入居者様に対してユマニチュードの4つの柱を活用した認知症ケアに取り組んでいます。認知症の進行に伴い傾眠が強くなり活動量も減り、車いすでの生活が増えてこられました。ご自身の足でまた、歩けるようになることを目指し、全職員対象にユマニチュードの伝達研修を行いました。

ながら学んでいます。まだ取り組みの途中ですが、車いすをレンタルする予定を、覚醒時には短距離を手引きで歩けるようになってくれたため、車いすレンタルを中止しました。長期目標である「軽介助で歩くことができる」を目標に、職員全体で取り組んでいます。すべての対応の時に、ユマニチュードの方法を実践できる施設になりたいと思っています。



▲認知症の方の疑似体験中
認知症の方の視界はラップの芯ぐらい



◀事務職員を含めた全職員に
伝達講習会しました



話す

自分が行っているケアを言葉にして伝える

立つ

40秒立つことができるなら寝たきりは防げる



見る

ただ見るのではなく相手の視点をつかむ

触れる

優しく飛行機の離陸・着陸のように触れる



アマノリハビリテーション病院では現在
外壁改修工事を行っています。
工期は2019年7月末までを予定してい
ます。
ご迷惑をお掛けいたしま
すが、ご協力の程よろしく
お願い申し上げます。



アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	1診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	松下 宏子 内科・循環器科	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	2診	狭田 純 リハビリ・神経科	—	狭田 純 リハビリ・神経科	狭田 純 リハビリ・神経科	大森 信忠 心療内科	狭田 純(第2.4のみ) リハビリ・神経科
	3診	井口 絳輔 リハビリテーション科	井口 絳輔 リハビリテーション科	—	—	嘉村 雄飛 リハビリテーション科	—

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～13時	1診	—	—	—	串畑 重行 内科	狭田 純 リハビリ・神経科	—
	2診	櫻津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	柏木紀代子 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科
午後 14時～17時	1診	串畑 重行 内科	串畑 重行 内科	—	串畑 重行 内科	—	—
	2診	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	—

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9
TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科・小児科
診療時間 午前9時～12時
休診日 日曜・祝日

廿日市在宅総合ケアセンターあまの

廿日市市車戸5-1-37

在宅医療支援室 TEL.0829-31-5122
地域連携室 TEL.0829-31-5226

あまのクリニック ■ 通所リハビリテーション ■ 重度認知症患者ケア

廿日市市車戸5-1-37 TEL.0829-31-5151代

診療科目 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科・小児科
診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時
休診日 水曜(午後)・全曜(午後)・日曜・祝日

アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市車戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

訪問看護ステーション ハートフルステーション あまの

廿日市市車戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

あまのコミュニティーケアプラザ LaLa

あまの保育園

廿日市市車戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ1F
TEL.0829-32-8800
電話対応可能時間 月曜～土曜
午前7時50分～午後6時30分

広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市車戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ2F
TEL.0829-34-4717
電話対応可能時間 土曜・日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

生活介護事業所 ハートフルあまの

廿日市市車戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ2F
TEL.0829-31-5581
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

相談支援事業所 あおそら

廿日市市車戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ2F
TEL.0829-34-4710
電話対応可能時間 土曜・日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

放課後等デイサービス オレンジ・スマイリー

廿日市市車戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ2F
TEL.0829-31-5582
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市車戸5-3-45 あまのコミュニティーケアプラザ3F
TEL.0829-31-5588
電話対応可能時間 日曜を除く
午前8時30分～午後5時30分

あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265

● 電話対応可能時間 月曜～土曜、祝日
● 午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応

発行:医療法人 ハートフル 企画・編集:広報委員会 発行日:2019年5月27日 季刊誌